

大学名

金沢大学

第60号テーマ
「大学図書館」

表題

源流から未来へ デジタルアーカイブで受け継ぐ 学都ではぐくまれた歴史と文化・思想

旧制四高蔵書コレクション

取材対応者(予定)



○附属図書館長 山岸 雅子
理事・副学長(企画評価・情報担当)

○資料館長 足立 拓朗
(人間社会研究域附属古代文明・
文化資源学研究中心 教授)

金沢大学の前身校の一つである旧制第四高等学校が所蔵していた近代教育掛図は、当館所蔵の四高蔵書(約10万冊)のコレクションの1つです。印刷図(市販されたもの)、手描図(四高が制作したもの)合わせて900点余りあり、明治以降の旧制高校における教育を物語る貴重な資料群です。掛図とは、授業の際に教室の壁面や黒板に掲げた大判の図、表、絵画などのことで、医学・生物学から地理・歴史まで幅広い分野のものが現存しています。

高精細画像で撮影されたデータは、附属図書館併設の金沢大学資料館にてデジタルアーカイブとしてWeb公開しており、DX時代に継承しています。

源流から新たな時代へ 学都の志を繋ぐ 大学図書館

近代日本を代表する哲学者・思想家として著名な鈴木大拙と西田幾多郎は、いずれも石川県に生まれ、第四高等学校の前身である第四高等中学校に学びました。

西田はその後四高の教授として、三々塾(四高生が修養と勉学の間として共同生活した下宿(塾))の指導を行うなど約10年にわたって教鞭を執りました。デジタルアーカイブでは、三々塾の写真など四高同窓生からの貴重な寄贈資料も掲載しています。

金沢大学は平成29年6月、本学にゆかりのある鈴木大拙と西田幾多郎にちなみ、本学卒業生の篤志家の寄附を原資として、哲学・思想・宗教分野で国際的に卓越した業績を挙げた研究者を顕彰する「金沢大学国際賞」を創設しました。図書館では、受賞者の著作を2人の関連図書と共に展示する企画を行っています。

金沢という学都がもつ希有なる思想文化の風土を現代から未来に受け継ぐため、次代を担う学生・若手研究者に学問的刺激を与え、学習や研究の一層の促進を支援しています。



筆致緻密で彩色豊かな手描き
教育掛図

第3回
鈴木大拙・西田幾多郎記念
金沢大学国際賞



西田幾多郎が指導した三々塾写真
(最前列右端が西田)

参考URL

- ・金沢大学附属図書館Webサイト
<https://library.kanazawa-u.ac.jp/>
- ・金沢大学資料館Webサイト
<https://museum.kanazawa-u.ac.jp/>
- ・第3回金沢大学国際賞募集要項
<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/corporation/kokusaishou/guidelines-3>